



杉の子

No. 11

文責：校長

十和田市東三番町36-1
TEL 23-7178
特別支援教育センター
TEL 23-9553

歲月人を待たず

校長 江 渡 準 悦

今年も残すところ、あと1週間となりました。今年の年明けは、「いよいよオリンピック・パラリンピックの年」という、何か活気に満ちあふれた一年になるものと期待していましたが、2月頃からは今まで経験したことがない事態に、何とか立ち後れないよう必死に生き抜いてきたという感じでした。

その一年もあとわずかです。表題の「歲月人を待たず」は、『時間は人の都合とは関係なく刻々と過ぎていくものである。』という意味で、【二度と戻らない時間をむだにしないで、努力に励めよ】という教えを含んでいます。

来年は、今年よりきっとよくなると願い、私たち三小教職員は、決意を新たにしているところです。

さて、学校だより先月号で予告していましたが「三小の今年の漢字を予想しよう！」の結果をお知らせします。日本全体ではご存じの通り、「密」が選ばれました。今年は感染防止策として、『3密（密閉・密集・密接）』を避けることが政府から要請され、多くの人が常に「密」を意識しながら行動するようになり、日常生活にも大きな影響を及ぼしたことがその理由に上げられるのでしょう。

三本木小学校の漢字で一番多く書かれたのは、「楽」の文字でした。2番目は「協」の文字、3番目は「笑」と「新」の文字でした。

日本の今年の漢字「密」と三本木小学校の漢字「楽」の両方を言い当てた応募数は、全校で17通ありました。早速、本日校長室にて表彰式を行いました。

『三小の漢字』その理由（抜粋）

「楽」…コロナがあって、去年とは行事や普段の生活も違ったけど、楽しい行事などで、今までと違う楽しみを感じたから。

…遠い所に行けなかったけど、学校でみんなと遊ぶことができ楽しかったから。

「協」…コロナの中でも、今できることをみんなで協力して、乗り越えているから。

「笑」…マスクの生活でも、目やマスクの動きで笑顔が分かったから。

「新」…今年、いろんな新しいことに挑戦して、自分の得意なことが分かったから。

(↓少数でしたが、子供の思いの込められた漢字をいくつか紹介します。)

「大」…入学したときより、背が大きくなってきたから。

「三」…令和三年、三小でもコロナがなくなるように、三密の防止をしよう。

「名」…くっつけないと、「たろう」になるからおもしろいです。(←目の付け所が素晴らしい!)

「嬉」…コロナで学校に行けなかったけど、行けるようになって嬉しかったから。

「悲/寂」…今年、いろいろな行事がなくなって悲しい(寂しい)から。

「未」…コロナの時期でまだ明るい未来は見えないけど、その未来をめざす気持ちがあるから。

「心」…コロナに負けないように、心をつにしたらから。

「最」…小学校生活最後の年で、最高の思い出がつくれたから。

「成」…例年とは違う行事がたくさんあったけど、どれも成功できたから。

「支」…今年コロナがあったからこそ、全校みんなで支え合うことができたから。

「信」…仲間を信頼して、「コロナに負けないぞ」という気持ちで過ごせたから。

「幸」…今年は大変だったけど、こうしてみんなと遊べて、勉強できて幸せだったから。

「友」…いろいろな人と友情が深まったから。「友達新発見」ができたから。

「深」…コロナだったけど、みんなが互いに気遣いあって、友情が深くなったから。

このように、子供たちの中では、いろいろと覚えることがあった1年だったようです。ただ、楽しいと感じる子供がいれば、上記のように、寂しいと感じる子供がいることにも目を向けていかなければなりません。私たち三小教職員は、これから

もその両面に目を向け心を配りながら、子供たちを育てていきたいと思っています。
令和2年も残りわずかとなりました。本年中の学校教育活動へのご支援・ご協力
に対しまして、心より感謝申し上げますと共に、令和3年もどうぞよろしくお願
いいたします。

みなさま、どうぞよいお年をお迎えください



「2学期の振り返りとこれから頑張りたいこと」

12月22日(火)に、各学年の代表から「2学期の振り返りと今後の目標」について、ご覧の内容
(概要)が発表されました。代表の児童は、どの子もしっかりとした口調で、自分自身の振り返り
やこれからの目標を発表することができていました。

<p>6年 ふるさとPR活動では、人を引 きつけられるように、そして、何 を質問されても臨機応変に答え られるように準備しました。喜んで くれたお客さんを見て、「やればでき る」と、自信が付き嬉しくなりました。 3学期は自分の立場をはっきり させること、分かりやすい説明 を意識して、自分を表現で きるように頑張ります。</p>	<p>1年 2学期は日直や給食当番を頑張 りました。後ろ跳びも頑張って練習し ていたら、前よりたくさん跳べるよう になりました。 冬休みの宿題は、字を丁寧に書き たいです。</p>	<p>2年 2学期は係と当番の リーダーを責任をもってや りました。縄跳びもイングキック 跳びができるようになりました。 冬休みはお手伝いをして、 お母さんとお父さんにゆっ くりする時間を作って あげたいです。</p>
<p>5年 発表するときは、普段より 声を大きくして発表し、友達 の意見もしっかり聞くことがで きました。 宿泊学習では班長として、大 事な情報を班員にしっかり 伝えました。 3学期は算数の計算 をスムーズにできるよ うに頑張ります。</p>	<p>4年 逆上がりができるようになるために、 土日に公園の鉄棒で練習したり、学校 でも練習しました。 冬休みは、普段お母さんが大変そう なので、洗い物をしたり、弟のめんどうを 見たりして、お母さんを助けたいです。</p>	<p>3年 毎日たくさんの先生にあ いさつをするのを頑張 りました。 たくさん手をあげて発表す ることも頑張りました。 冬休みは早寝早起きを して健康にすごしたいで す。マスクもして三密 にも気をつけたい です。</p>

医療従事者の方々へのエール

12月9日に6年生代表3名が、十和田市立中央病院
を訪問し、医療に従事されているの方々へエールを届け
てきました。感染症について繰り返し学習してきたこと
で、命の大切さや尊さを改めて深く考えるようになった
事が、エールを届けたいという動機となっています。

【エールの一例】

大変な時期に私たちのために医療に従事して下さい、
本当にありがとうございます。私も普段から優しさと思い
やりの心を持つことを意識して過ごしています。私たちも
感染予防を頑張りますので、みなさんも頑張って下さい。
毎日ありがとうございます。

このように、子供たちは大事なことを学び、実践へとつなげています。

また、現在は、国内の全域で感染症の拡大が懸念されています。今後、もし、地域で「感染を
責める雰囲気」が広がれば、医療機関での受診が遅れたりして、感染拡大を招きかねません。
私たち大人も子供たちへ模範を示し、感染者への差別や偏見を生まない三小学区をみんな
で創っていきましょう。

